

平成 18 年 12 月 8 日

各 位

会社名 株式会社エフェクター細胞研究所
 代表者名 代表取締役社長 金ヶ崎 士朗
 (コード番号 4567 名証セントレックス)
 問合せ先 執行役員経営企画部長 芥 照夫
 電話番号 03-5428-2307

中間（個別・連結）業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 18 年 7 月 10 日に公表いたしました平成 19 年 5 月期(平成 18 年 6 月 1 日～平成 19 年 5 月 31 日)の中間業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

- (1) 平成 19 年 5 月期 中間業績予想数値の修正 (平成 18 年 6 月 1 日～平成 18 年 11 月 30 日)

【連結】

(単位:百万円、%)

	売上高	経常損益	中間純損益
前回発表予想(A)	440~210	▲710~▲1,050	▲710~▲1,050
今回発表予想(B)	70	▲650	▲750
増減額(A-B)	▲370 (上限) ▲140 (下限)	60 (上限) 400 (下限)	▲40 (上限) 300 (下限)
増減率(%)	84.1%減 (上限) 66.7%減 (下限)	—	—

(注意事項)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる可能性があります。

(2) 平成 19 年 5 月期 中間業績予想数値の修正 (平成 18 年 6 月 1 日～平成 18 年 11 月 30 日)

【単体】

(単位:百万円、%)

	売上高	経常損益	中間純損益
前回発表予想(A)	430～210	▲670～▲1,000	▲670～▲1,000
今回発表予想(B)	70	▲600	▲750
増減額(A-B)	▲360 (上限)	70 (上限)	▲80 (上限)
	▲140 (下限)	400 (下限)	▲250 (下限)
増減率(%)	83.7%減 (上限)	—	—
	66.7%減 (下限)	—	—

(3) 業績予想の修正理由

- ・ 売上高につきましては、機器販売事業における大口案件を失注したことにより、前回発表の下限を 140 百万円下回り 70 百万円となる見込みです。
- ・ 経常損益につきましては、研究開発費や一般管理費における経費節減に努めた結果、前回発表予想の下限より 400 百万円損失幅が縮小し、650 百万円の経常損失となる見込みです。
- ・ **Finance & Technology International** 社への売掛金に対して貸倒引当金を設定いたします。貸倒引当金の設定に伴う特別損失は平成 19 年 5 月期の中間決算におきまして 60 百万円を計上する予定です。

以 上

(注意事項)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる可能性があります。